

航空機部品受注へ新組織

県内6社 きょう設立 複数の工程連携

精密機械加工の石金精機

(富山市流杉)など県内の製

造業6社が21日、「県航空機

部品共同受注グループ(仮

称)」を設立する。機械加工

やめつきなど航空機部品の製

造に必要な複数の工程を連携

して手掛ける仕組みを構築

し、大手メーカーからの受注

を獲得しやすい体制を整え

る。

グループに参加するのは石

金精機とアイティオ(魚津市

吉野)、タアフ(富山市月岡

町)、立山マシン(同市下番)、

タナカエンジニアリング(同

市向新庄町)、ユニゾーン(同

市綾田町)の各社。清水克洋

石金精機社長が設立発起人を

務め、21日に富山市の富山国

際会議場で設立総会を開く。

県などによると、航空機関

連の大手メーカーは経費削減

と納期短縮を図るため、複数

の企業で作る共同受注体への

一括発注を強化している。新

たに設立するグループはこう

したニーズに対応し、各社の

強みを生かして複数の工程を

一括して受注できるようにす

る。今後は航空機関連の展示

会に出展するなど、各社が一

体となった営業活動を進め

る。

航空機を構成する部品は1

00〜300万点と言われ、

産業の裾野が広い。経済産業

省によると民間航空機は新興

国を中心に需要が拡大してお

り、約20年後の市場規模は倍

増すると見込まれている。

県はこれまで、航空機産業

参入に意欲を持つ県内企業

を対象に、県航空機産業交流

会や県航空機産業共同受注研

究会を設置するなどして成長

分野への進出を支援してい

る。